

# 輝いて明日へ

2025. 7. 25

誰にも優しい  
地域社会をつくります



社会福祉法人 ボワ・すみれ福祉会  
理事長 田部井 眞

## 地域の課題解決に役割を果たす

町田市には、41の社会福祉法人があります。児童・保育分野21法人、障がい分野11法人、高齢・介護分野8法人、社会福祉協議会1法人となっています。このほかにNPO法人やボランティア団体によって地域福祉が支えられています。

地域福祉といっても、生涯学習など多様な分野があります。ライフステージによってかわるサービスも変化していきます。様々な年齢、ニーズに応じて自然発生的に生まれたサービスもあり、生活に豊かさをもたらす活動も行われています。住民の主たる年齢構成も大きく変化し、それに伴って必要とされるサービス量も大きく変化しています。

また、社会情勢の変化により、免許返納などの要請により需要が増加することが予想されるサービスもあります。

地域ごとに必要なサービスもすべて行政が提供できるわけでもありません。地域住民自らが共助の考え方にに基づき解決することが強く求められています。地域がまとまり必要なサービスを構築していく際に、社会福祉法人が保有している資源を活用し、ともに地域の課題を解決していくことが有効ではないでしょうか。

社会福祉法人は、地域貢献活動を行うことが義務づけられています。行政や営利企業が手を出しにくい分野を、リーズナブルな費用負担で実施することも求められています。地域と共同して課題を解決していくときに、社会福祉法人の存在意義が地域に認知され、地域になくてはならない存在として地域社会の中で活動が続けられていくことになると思います。

かつて、障がい福祉事業所は迷惑施設として反対運動により新規計画を断念した時代もありました。それは、私たち社会福祉法人側が十分に説明責任を果たせず、誤解を招いたこともあったのかもしれない。今は、地域社会の課題解決に社会福祉法人が保有している資源が必要とされる時代になってきたのかもしれない。社会福祉法人が大切にすることを地域の方々と共有しながら地域の課題解決に役割を果たしていきたいと思います。





## 「名前はまだ無い」

花の家職員通用口前の植栽空間の足元が雑草で覆われて見栄えも良くなかった為、花壇として再生させるプロジェクトが昨年度スタートしました。その時の様子を2024年7月号の広報誌でお知らせいたしましたが、今回その後のご報告となります。

当時は柏（かしわ）の木の根元等はほとんど雑草のみで殺風景な感じでしたが、今回写真を見比べてみてお分かりの通り、足元は季節の花々に彩られ、アクセントとして置かれたプランターでは豪華なユリが芳醇な香りを漂わせ、ブルーベリーがたわわに実を付けたりしています。

ちなみに、冬季も北風が吹き寄せる真冬の時期も葉ボタンやパンジー等が花や葉を茂らせる様子を通勤の際に目にしながら、植物のたくましさに関心していたものです。

今回の再生プロジェクトではせっくなので花壇に名前を付けたらどうかと提案したのですが、残念ながら「名前はまだ無い」ままです。もし、この記事を読まれた方や目にしている関係者の方から名前を付けていただければ嬉しいと花壇も申しています？ので、何か素敵なネーミングを思いつかれた方はご連絡ください。(鈴木 浩子・畠山 史郎)



Before



After



## 摂食PTの取り組み



摂食PTでは歯磨きの仕方や安全に食べる支援方法など内部研修を行い、支援者の知識向上の取り組みや、町田市歯科医師会のご協力のもと、年に3回おくぬし歯科より奥主先生を派遣していただき摂食指導を行っていただいています。主に初年度のご利用者や食事の見直しが必要と思われる方への食事に関して診ていただく時間となっています。内容としては提供している給食の形態や、姿勢、食具は適正かどうか？などになります。その後、グループで結果を話し合い普段の支援に生かしています。また、良くあることとしてはご家庭のニーズで咽はあるけど今は何はともあれ元気なので常食をたくさん食べてほしいがあります。

元気なうちにおいしくお腹いっぱい食べてほしいという当たり前のことですが、場合によってはそれが原因で健康を害してしまうことも、ここは今後も元気に、また、安全に過ごしていただくために支援しているものとして何がご利用者にとって幸せかを考えさせられる場面です。ご家庭でも食事に関して何かあればいつでもグループ、摂食PTへご相談ください。



(長澤 和弥)



## 職員挨拶



6月より花の家で看護師として働いている、小西麻衣です。

前職は障がい者福祉とは関係のないクリニックで働いていました。上場企業だったため動向が激しく、常に自己成長を必要としアップデートする日々でした。

小児科で働いていた時重症心身障がい児の看護を行っていましたが、成人の障がいのある方の看護は未経験なので不慣れな点が多く、ご迷惑をおかけすることが多々あるかと思っています。ご利用者さんが心安らかに過ごせるよう最善を尽くして頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。





## 「クッカ広場ご利用者の一日」

クッカ広場の一日は検温から始まります。手洗いうがい、出席簿への印を押し、ロッカーに荷物を置き身支度を整え準備完了。

9 時 30 分全員席につき朝の会です。出席確認、今日の自分の作業は何か！担当職員は誰か！気になるところ。皆さんホワイトボードのチェックは欠かしません。ラジオ体操で体をほぐし各自作業を開始です。

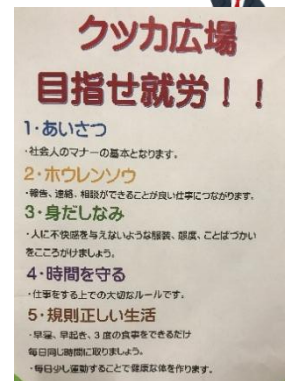
クッカ広場での主な作業は店舗での接客等作業、リサイクル持込品の商品化（値付けや磨きなど）、受注 CD 仕分けなどなど。午前の作業は 12 時まで。午後の作業は 1 時から 3 時まで。途中休憩をはさみながらその日の担当職員とともに自分たちの作業に集中して取り組みます。

昼食を食べお腹が満足した後は午後の作業が始まるまでおしゃべりする人、昼寝をする人、音楽を聴く人、それぞれ自由に過ごします。腕相撲で力比べをしたりもします。

午後の作業が終わったら掃除です。今日の汚れは今日のうちに！明日また気持ちよく作業ができるよう自分たちが使う場所をきれいにします。

クッカ広場の一日は帰りの会で終了です。帰りの会はその日の当番さんが進行します。明日の欠席、遅刻の確認。クッカでの注意事項（手洗い、うがいをする。マスクをするなど）を伝え、社会人としての心構え「目指せ就労！！」1～5 を全員で唱和します。たまに「6、笑顔！」が加わることも。次の日の当番はじゃんけんで決めます。勝ちか負けかあいこ、どれで決まるかその日の当番次第。

当番さん最後の締めです。「今日も一日お疲れ様でした。」（大高 星子）





## 「最近の出来事から」

このコーナーでも何回かご報告していると思いますが、近年、（障がい当事者及びご家族の高齢化等により）将来の住まう場をどうするか、家族に代わる後見を誰に託すかという課題に直面している方が増えています。

そのような相談を受けた場合、相談員は住まう場としてストックしているグループホームや入所施設に関する情報から当事者に合いそうなところをピックアップして情報提供したり、時に見学同行を行います。並行して、制度としての成年後見制度の利用を検討する場合、先ずは町田市社会福祉協議会に連絡して、手続きを進めていきます。その他にも、貯蓄や収支の面から必要であれば生活保護の受給を行政の生活援護課に相談する等、一件の事例に対し、連絡する関係機関は複数に及びます。

他地域の実情はわからないので比較はできませんが、私の実感としては町田市の福祉に関わる各各の事業所は大変よくやっているとしますし、関係機関同士の連携もよくできていると思います。

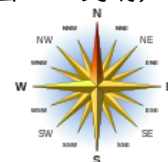
その連携を更にスムーズに、より相談しやすい総合相談窓口として設置されたのが、「まちだ福祉〇（まる）ごとサポートセンター」です。恥ずかしながら、私が同機関のことを実際に知ったのは比較的最近のことであり、それまではそのような窓口が新設されたのは耳にしていたものの、実際の業務内容を熟知していた訳ではありませんでした。

これをお読みの皆様にもその存在を知っていただきたく少し同機関のことを記しますと、2年前に境地域に設置されたのを皮切りに、鶴川、忠生、南地域に、そしてこの4月に町田地域において開設されました。相談内容は「独り暮らしで頼れる人がいない」「我が子の行く末が心配」「引きこもりの家族がいる」「育児と介護で大変」等、多岐に渡り、同機関の地域福祉コーディネーターが各関係機関や支援団体等と連携し、解決に向けたサポートを行うとされています（町田市HPから）。

最近、私が担当した事例では、ご本人だけではなくご兄弟や保護者を含めた複雑な課題を有するご家族全体へのサポートが必要であった為、支援検討会（関係者会議）に福祉〇ごとサポートセンターの方に出席していただきました。同機関では成年後見制度の利用や住居に関する相談等も行っていることもあり、今回支援ネットワークの一翼を担っていただけることになって大変心強く思った次第です。

皆様がお住いの地域には、町田市役所の他、地域支援センターや相談支援事業所、社会福祉協議会、そして今回取り上げた福祉〇ごとサポートセンター等の相談先があり、何の相談をどこへすれば良いのか迷うこともあるかもしれません。上述したように町田市は関係機関同士の連携はしっかり取れていますので、どこに相談しても必ず支援を必要とする機関に繋がるようになっています。そのような中でも、今回紹介した福祉〇ごとサポートセンターが対象者や相談内容を限定せず幅広く対応できる総合相談窓口として設置されたことは皆様頭においておかれても良いかもしれません。

（畠山 史朗）





2025 年も暑い暑い夏が到来しました♪海に！山に！・・・も良いですが、花の郷では夏野菜の収穫が真っ盛りです。6 月にはじゃがいものメークイン、キタアカリの収穫から始まり、現在はたわわに育ったピーマン、きゅうり、ししとう、ナスなどの夏の旬な野菜の収穫がピークとなっています。

暑い中での作業になりますので、熱中症対策のため、作業棟や玄関ホールで適宜休憩、水分補給をしながら活動しています。園芸作業で草取りや土づくり、水やりも頑張りがちながら、大事に育てた夏野菜たちをご利用者と一緒に一つ一つ丁寧に収穫していきます。

収穫した野菜は、作業棟で穴をあけた袋に詰め、（野菜は呼吸をしているので空気穴をあけます）激安!! 1 袋 100 円パックを作りました。袋詰めした野菜をカゴいっぱい並べ、花の郷事務所に納品します。

新鮮獲れたて野菜たちを収穫したご利用者も、職員も楽しみにしているので、あっという間に完売。おかげ様で売り上げも好調です♪

今後は、トマトとさといもを収穫予定、順調に育ってきています。続いて、さつまいも、落花生、ほうれんそう、小松菜なども計画中です。収穫が待ち遠しいですね。

皆様も新鮮な野菜を食べ、この猛暑を乗り切ってください！！

(白澤 大樹)





毎年6月は食育月間です。

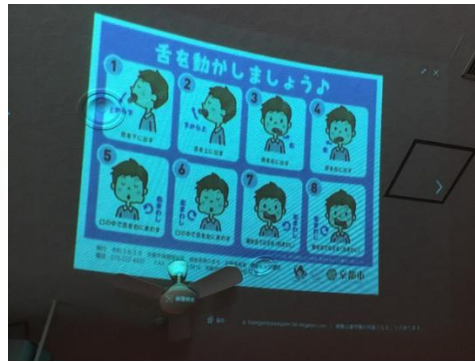


今回の食育のテーマは・・・「何年先もおいしく食べるために、カンタン楽しいおくちの体操」  
 食事を楽しむために欠かせない「噛む力」は加齢に伴い低下するといわれています。  
 健康なお口なしでは、しっかりとした栄養も摂れないという観点からアルモニーでは「食育月間」である今月の取り組みとして、お食事前にご利用者様を対象にお口の体操として「パタカラ体操」や「舌の体操」を行いました。

そして、ご利用者様に分かりやすくお伝えできるように映像をながしながら職員も一緒に行いました。  
 口腔体操を行うことで「口の筋肉強化」「唾液分泌の促進」「誤嚥予防」など様々な効果が期待できます。

今後も安心して食事を楽しんでいただけるように予防として口腔体操を習慣化していきましょう！

(宮城 真理亜)



マクドナルドに行ってきました♪



アルモニー分場（生活介護）では、6/20（金）にマクドナルドに行ってきました。当初は、運動を兼ねて歩いて行く予定でしたが、梅雨入り後の急激な暑さが続いていたところだったため、安全面を考慮して車で行ってきました。

お知らせを出した時点から楽しみにしていたご利用者の皆さん。当日も「何にしようかな」とウキウキされていました。

悩みながらそれぞれ注文。暑い日だったので飲み物を買う方が多かったです。中にはマックフルーリーやソフトクリームなど冷たいデザートを購入し、おいしそうに召し上がっていました。ソフトクリームを食べた後、「コーヒーも飲みたい」と追加でアイスコーヒーを購入したりと、余暇時間を満喫してきました♪

(桐生 絵里)



# 児童支援部

## ボワ・コンサール

あっという間に春が過ぎ、季節は夏に移り変わりました。6月は大雨が降ったかと思えば、真夏のような暑さの日がありましたが、コンサールに通う子ども達は元気に過ごしています。公園に行って体を動かしたり、室内では毎週工作に励んでいます。クッキングを行った時は完成を楽しみにしながら取り組んでいます。

いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みが近づいて来ました。今年もブルーベリー摘みやカレー作り、水遊びなど楽しい活動を計画しています。しっかりと暑さ対策をしてこの夏も楽しく過ごしましょう！

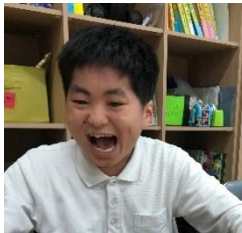
(渡邊千春)



## ボワ・エール

梅雨も明け、いよいよ夏本番の天気となってまいりました。児童支援部は、7月下旬からの各学校の夏休みに合わせて長期休み対応期間に入っています。いつもは放課後の短い時間でのご利用になりますが、長期休み中は朝から夕方まで子ども達が元気いっぱい活動しています。今年の夏も暑くなりそうですので、熱中症対策をしっかりとしながら、夏休みの楽しい思い出をたくさん作っていきましょう！

今年度に入ってから「みんなの笑顔」を集めました。まだまだ載せたい写真はたくさんありますが、抜粋して掲載します。





＊グループホーム レクリエーション活動報告＊

ひなた 【ぶ厚い肉を食べよう企画】とゆうことで、毎年恒例の外食レクを開催。ステーキ宮に行ってきました。メニューを見て好きなものを注文しました。サラダバーやスープバーを頼む方もいればアイス、パフェを頼む方もいました。ハンバーグ、ステーキをがっつり食べ、夏に向けての英気を養うことが出来ました。いくつになっても、ガッツリ肉を美味しく食べたい！また来年、行きましょう。

(内藤 大地)



ミニヨン 【手巻き寿司パーティー&デザート争奪ビンゴ大会】

楽しいイベントの前にまずは大掃除…せっせとミニヨンをキレイにしてからレクリエーションの準備です。寿司ネタ仕入チーム、景品セットチーム、デザートセレクトチームに分かれてお店へ出発。「これなんてどうかな」「うなぎも食べようか！」などと会話をしながら商品を選び、エコバックに詰めました。ビンゴ大会の景品はギフトバックに詰めてラッピング♡何が当たるか楽しみです。バタバタと準備が出来たところで手巻き寿司パーティーの開始です。

マグロやエビ、かんぴょう、卵、それぞれ好きなネタを巻いてオリジナルの手巻き寿司が完成。はみ出たネタを食べ、手についたシャリを食べ、思わず笑顔がこぼれてしまいました。

食後のビッグイベント～「これからビンゴを始めます！」とビンゴ隊長の開会宣言で始まりました。番号を発表する度に嬉しい声や落胆する声等が聞かれ、列全てあく「ビンゴ！！」と大きな声で伝えていました。景品を貰い、目当てのデザートを選んで記念撮影。あっという間に終了となりました。

(山本 純)



## ボワ・すみれ福祉会後援会

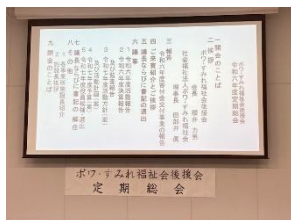


定期総会が開催されました

令和7年4月23日(水)バイオエネルギーセンターにて、令和6年度定期総会が開催されました。全会員数276名、当日参加者40名 委任状173名 合わせて213名となり規定数を満たしましたので総会が成立致し、議事全てが賛成多数で決可承認されました事をご報告させていただきます。

また、ご多用の中お越し下さいましたご来賓の皆様からの暖かい祝辞をいただき、当日は寄付事業をスライド映写にてご紹介させて頂きました。次回総会にも会員の皆様の更なるご参加をお待ちしております。

(後援会事務局)



発行 社会福祉法人ボワ・すみれ福祉会 理事長 田部井 眞

東京都町田市下小山田町 3267-2  
TEL : 042-797-6044(代) / FAX : 042-797-4824  
E-mail : hananoie@poem.ocn.ne.jp  
<https://bowasumire.jp/>

